

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】平成 17 年 8 月 18 日 (2005.8.18)

【公開番号】特開 2003-224727 (P2003-224727A)
【公開日】平成 15 年 8 月 8 日 (2003.8.8)
【出願番号】特願 2002-20273 (P2002-20273)
【国際特許分類第 7 版】

H 0 4 N 1/413

G 0 6 F 3/12

【F I】

H 0 4 N 1/413 D

G 0 6 F 3/12 A

【手続補正書】

【提出日】平成 17 年 1 月 31 日 (2005.1.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】発明の名称

【補正方法】変更

【補正の内容】

【発明の名称】画像圧縮方法及び装置

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

圧縮画像データに画像付加情報を付加して出力する画像圧縮方法であって、
画像データを圧縮する圧縮工程と、
前記圧縮により得られた圧縮画像データのデータ量を計算する計算工程と、
前記計算工程で計算された圧縮画像データのデータ量が所定値を超える場合、前記圧縮
画像データに、該圧縮画像データの少なくとも一部に対応する画像付加情報を付加しない
様に制御する制御工程とを備える画像圧縮方法。

【請求項 2】

前記制御工程は、前記圧縮工程で 1 ページの画像に対応する画像データを圧縮している
途中に、前記圧縮工程で既に得られた圧縮画像データのデータ量が所定値を超えた場合に
、前記ページ内の以後に圧縮される画像データに対応する画像付加情報を付加しない様に
制御することを特徴とする請求項 1 に記載の画像圧縮方法。

【請求項 3】

更に、前記画像付加情報を圧縮する第 2 の圧縮工程を備えることを特徴とする請求項 1
に記載の画像圧縮方法。

【請求項 4】

前記画像付加情報は、前記画像データが表す画像の種別を特定する情報であることを特
徴とする請求項 1 に記載の画像圧縮方法。

【請求項 5】

前記画像付加情報は、前記画像データが表す画像の各画素の種別を特定する情報である
ことを特徴とする請求項 1 に記載の画像圧縮方法。

【請求項 6】

前記画像付加情報は、前記画像データが表す画像の各画素の種別を特定する情報であることを特徴とする請求項１に記載の画像圧縮方法。

【請求項７】

圧縮画像データに画像付加情報を付加して出力する画像圧縮装置であって、
画像データを圧縮する圧縮手段と、
前記圧縮により得られた圧縮画像データのデータ量を計算する計算手段と、
前記計算された圧縮画像データのデータ量が所定値を超える場合、前記圧縮画像データに、該圧縮画像データの少なくとも一部に対応する画像付加情報を付加して出力しない様に制御する制御手段とを備える画像圧縮装置。

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００１

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００１】

【発明の属する技術分野】

本発明は、画像データを圧縮して得られた圧縮画像データに画像付加情報を付加して出力する画像圧縮技術に関するものである。

【手続補正４】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００３

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００３】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、画像データによっては圧縮した後の圧縮画像データのデータ量が期待したよりも膨大になってしまうことがあった。

【手続補正５】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００４

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００４】

本発明は上記点に鑑みてなされたものであり、圧縮画像データ及びこれに対応する画像付加情報を出力する場合において、圧縮画像データのデータ量が期待したほど軽くないことによる処理パフォーマンスの低下をできるだけ抑えることを目的とする。

【手続補正６】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

【課題を解決するための手段】

上記目的を達成するため、本発明の画像圧縮方法によれば、圧縮画像データに画像付加情報を付加して出力する画像圧縮方法であって、画像データを圧縮する圧縮工程と、前記圧縮により得られた圧縮画像データのデータ量を計算する計算工程と、前記計算工程で計算された圧縮画像データのデータ量が所定値を超える場合、前記圧縮画像データに、該圧縮画像データの少なくとも一部に対応する画像付加情報を付加しない様に制御する制御工程とを備えることを特徴とする。

【手続補正７】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

CPU(1006)はシステム全体を制御するプロセッサである。本実施例では2つのCPUを用いた例を示す。これら2つのCPU(1006)は、共通のCPUバス(1007)に接続され、さらに、システムバスブリッジ(1008)に接続される。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0119

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0119】

【発明の効果】

以上述べたように本発明によれば、圧縮画像データ及びこれに対応する画像付加情報を出力する場合において、圧縮画像データのデータ量が期待したほど軽くないことによる処理パフォーマンスの低下をできるだけ抑えることができる。